

## 大阪府指定出資法人評価等審議会（第5回）

- と き 令和3年6月16日（水曜日）13：00～16：00
- と ころ Web 開催
- 出席者 吉村 典久（大阪市立大学大学院経営研究科・商学部 教授）  
飯島 奈絵（堂島法律事務所 弁護士）  
上野山 達哉（大阪府立大学大学院経済学研究科・現代システム科学域マネジメント学類 教授）  
川崎 ますみ（オフィス・リオ 中小企業診断士）  
久保 明代（株式会社プロスパー・コーポレーション 代表取締役会長）  
坂本 守孝（坂本会計事務所 公認会計士）  
山田 美智子（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主任研究員）
- 議 事 令和3年度経営目標について（事務局説明）
  - （1）大阪府道路公社
  - （2）大阪モノレール（株）
  - （3）大阪信用保証協会
  - （4）（公財）千里ライフサイエンス振興財団

### 令和3年度経営目標について（事務局説明）

#### （1）大阪府道路公社

##### 資料に基づき、事務局から令和3年度経営目標案の説明

- 委 員：鳥飼仁和寺大橋有料道路の ETC 整備については、工事費が高額になると思われるが、令和3年度の予算に工事費は確保されているのか。
- 法 人：ETC 整備に係る工事費については、NEXCO 西日本からから 100%助成を受けることとなっている。
- 委 員：「利用促進策等の効果的な情報発信」について、何を達成の基準とするのか。
- 部 局：会報誌へのチラシ同封やツイッター等の SNS による情報発信等を考えており、取り組むごとに1項目としてカウントしていく。
- 委 員：項目数を目標とするのは良いが、今後は取組み内容がより効果的なものとなるよう厚みや頻度なども分かるようにしていただきたい。

#### （2）大阪モノレール（株）

##### 資料に基づき、事務局から令和3年度経営目標案の説明

- 委 員：「サービス介助士資格の取得」について、資格取得の人数を指標とすることは目標して分かりやすいが、資格取得をすることで利用者にとってどう評価されているか、CS 調査の結果等とリンクさせた方が良い。資格取得は利用者満足度向上のためのツールの一つであるので、資格取得の効果を計るために、CS 調査で駅係員・運転士の案内対応に対する評価がどう変わったのかを見ていった方が良いのではないかと。
- 部 局：「サービス介助士資格の取得」については、令和元年度まで「サービス強化に向けて実施する社員研修」の回数を成果測定指標としていたが、審議会委員から法人の取組みが分かりやすい指標を設定すべきとの意見を踏まえ設定しているもの。資格取得による効果について

は検証できるように検討していく。

### (3) 大阪信用保証協会

#### 資料に基づき、事務局から令和3年度経営目標案の説明

委員： 経営支援・経営改善支援等の推進について、R3 目標値が 470 でコロナ前の水準に戻すということだが、コロナの影響が戻っていない中で、無理な目標達成を目指す、企業・専門家にもマイナス影響もあると思われるが、方針としてどのように考えているか。また、コロナ禍において、意外と創業が増えているという認識がある。中期事業計画の中に、創業予定者、創業して間もない中小企業者に対する創業支援とあるがどういったことをされるのか教えて欲しい。

法人： 信用保証だけでなく経営支援にも力を入れるように平成30年度に国から方針が示されており、コロナの影響は残っているものの、R2年度下期からオンラインツールを活用した取り組みを進めている。頑張っけてコロナ前の水準まで戻そうと考えている。創業支援についても、専門家による経営診断やセミナー等による支援を行っていく。

委員： 経営支援の件数については、無理をして悪い影響がでないように留意いただきたい。

### (4) (公財) 千里ライフサイエンス振興財団

#### 資料に基づき、事務局から令和3年度経営目標案の説明

委員： 資料6 岸本基金研究助成応募件数について、若手研究者の減少、博士課程入学者の減少という説明があったが、その人数の推移を資料に落とし込んで欲しい。

法人： わかりやすいよう数値を記載させていただく。